

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 6 月 5 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (6/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h	32.7	106.8 kPa abs	A系:0.05 vol% B系:0.08 vol%
		給水系：約 3.4 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 6.0 m ³ /h	46.4	14.76 kPa g	A系:0.19 vol% B系:0.18 vol%
		給水系：約 2.8 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 5.0 m ³ /h	55.6	0.26 kPa g	A系:0.12 vol% B系:0.12 vol%
		給水系：約 2.8 m ³ /h			

*:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【2号機】・6/5 原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。

<2. 使用済燃料プールの状況> (6/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5
2号機	循環冷却システム	運転中	23.9
3号機	循環冷却システム	運転中	23.1
4号機	循環冷却システム	運転中	34

【2号機】・6/5 10:18~11:20 使用済燃料プールへヒドラジンの注入を実施。

【4号機】・6/4 20:03 使用済燃料プール代替冷却系において、「エアフィンクーラ盤異常」の警報が発生し、二次系の循環ポンプ(A)が過負荷トリップしていることを確認。現場確認の結果、ポンプモータ端子箱付近に焦げ痕を確認したことから、21:27、富岡消防署(楢葉分署)に連絡。その後、同日 23:30、消防署から「火災ではない」との判断をいただいている。なお、使用済燃料プール代替冷却系については、同日 20:27、二次系の循環ポンプ(B)を起動しており、プール水温に有意な変動はなく、冷却状態に問題なし。

6/5 10:30 使用済燃料プール代替冷却系における二次系の循環ポンプ(B)の状態確認を実施するため、同ポンプを一時的に停止。ポンプ停止中のプール水の温度上昇は約 0.3℃/時と考えており、プール水温管理上、問題はないと考えている。類似構造である1号機の使用済燃料プール代替冷却系における二次系の循環ポンプ(A)及び(B)についても、今後、状態確認を実施する予定。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	5/27 14:34 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	6/3 10:15 ~ 移送実施中
6号機	6号機 タービン建屋 →	仮設タンク	6/5 10:00 ~ 16:00 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (6/5 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/6/5 2号機原子炉建屋開口部(ブローアウトパネル)のダストサンプリングを実施。

以上